

## 佐伯区の魅力と活力を高める取組を推進するためのアクションプラン（たたき台）

### 1 アクションプランの策定に当たって

#### (1) アクションプラン策定の趣旨

広島市には八つの行政区があり、区によって人口、地勢、産業構造、地域資源、歴史・文化などに違いがあり、地域が抱える課題も様々です。

佐伯区では、区役所が区民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、まちづくりに関する事務を所掌する「地域起こし推進課」を中心に、地域の特色を生かしながら、区民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そのためには、区民のみなさんによる主体的なまちづくりの推進も必要不可欠になります。

そこで、区民のみなさんと区役所等がともに佐伯区の今後のまちづくりの方向性を共有しながら、これまで以上に住民主体のまちづくりに取り組んでいくため、本アクションプランをまとめました。

また、広島市では、200万人広島都市圏構想を掲げ、経済面や生活面で結び付きのある近隣市町との連携や交流によって、誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”まちの実現を目指しています。佐伯区においても、廿日市市や安芸太田町といった近隣市町との連携や交流に積極的に取り組み、佐伯区全体の活性化に貢献する取組を推進します。

#### (2) 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

#### (3) アクションプランの位置付け

本アクションプランは、第6次基本計画の中の「区における地域住民を主体としたまちづくり活動の充実」に掲げる「まちづくりの方向性」を区民のみなさんと行政が協働して実現していくための計画として策定します。

### 2 佐伯区の位置と地勢

- ◆ 市の西部に位置し、東は西区、安佐南区、安佐北区に、西は廿日市市に、北は安芸太田町に接しています。
- ◆ 区の南部は、八幡川沿いに広がった平野部が、極楽寺山・窓ヶ山・鈴ヶ峰などの山々で形成される山地部に取り囲まれています。北部は、太田川水系水内川が東西に貫流しており、上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流はやや広がりを持った河川沿いの平地に比較的まとまった集落が形成されています。
- ◆ 区の南部には山陽自動車道、西広島バイパス、JR山陽本線、広島電鉄宮島線、国道2号が東西に走り、さらに、都市計画道路駅前線の整備などにより、広島都市圏西部の拠点にふさわしいにぎわいのあるまちづくりが進められています。
- ◆ 一方、湯来地区は、広島の奥座敷として親しまれてきた「湯来温泉」や旧広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」をはじめ、緑の山と清らかな水、澄んだ空気に象徴される恵まれた自然資源を有しています。

### 3 佐伯区の現状と課題

区のまちづくり懇談会では、佐伯区を大きく特徴的な三つの地域に分け、それぞれの地域の現状と課題について話し合いました。

地域	現状と課題
中山間地域	旧湯来町を中心とした中山間地域は、山、川などの豊かな自然や魅力ある歴史、文化等の地域資源に恵まれている一方で、少子化・高齢化、人口減少の進展により、空き家や荒廃した農地、林地が増加している。 このため、空き家の増加を食い止めることや空き家の放置が長期間続かないような取組が必要である。また、継続的な農地、林地の維持管理や、荒廃した農地などの再生に取り組む必要がある。
住宅団地	ほとんどの住宅団地は完成から30～40年以上が経過し、高齢化が一斉に進行している。また、住民のふるさと意識が希薄化するとともに、少子化及び人口減少も同時に進展し、スーパーや商業施設の撤退、バスの減便等が問題となっている。 今後、住み続けられるまちづくりを進めていくためには、ふるさと意識の醸成や買物弱者の対応に取り組む必要がある。
市街地	区の南側を中心とした市街地においては、充実した都市機能や豊かな自然などに恵まれ、新しいマンションや戸建住宅の住民、外国人の住民が増えている一方で、町内会加入率の低迷が続き、住民同士が交流する機会が減っている。 このため、住民が互いに支え合うことができる社会を実現するために、隣近所、世代間、異文化間の交流を促進する必要がある。 また、充実した都市機能を生かし、広域的な視点でのにぎわいづくりにも取り組む必要がある。 さらに、大規模小売店舗の出店等により商店街が衰退してきているため、商店街の活力向上を図る必要がある。
共通	公民館などの身近な地域資源が豊富にあるが、地域活動の担い手が不足しており、地域コミュニティの活力低下が懸念される。 このため、町内会役員などの固定化、高齢化への対応が必要である。 また、地域外との交流が少ないため、来訪者の増加に向けた取組が必要である。 さらに、近年、自然災害が頻発していることから、災害への不安が増しており、平常時から災害への備えが必要である。

### 4 佐伯区の目指すべきまちの姿

- ㊦：ささえあい
- ㊧：えがおあふれる
- ㊨：きぼうのまち

住民が互いに助け合いながら、安全で安心して生活することができ、将来にわたり、笑顔と希望に満ちた、にぎわいのあるまちを目指していこうという思いを表現しました。

### 5 佐伯区のまちづくりの方向性

#### (1) まちづくりの方向性

佐伯区では、地域の課題解決や地域の魅力と活力の向上に資する区民のみなさんの主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりに取り組みます。

ここでは、佐伯区の現状や、区のまちづくり懇談会などでみなさんから頂いた意見を踏まえ、佐伯区の四つのまちづくりの方向性と主な取組をまとめています。また、区のまちづくり懇談会で話し合った、住民のみなさんが主体となって取り組む活動についてもご紹介します。

## まちづくりの方向性① 自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり

### 概要

海、川、山などの豊かな自然環境を維持・活用するとともに、湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくりを進める。

### 【主な取組】

#### ○ 豊かな自然環境の維持・活用

区の特徴である豊かな自然を維持し、活用したまちづくりを目指します。

- ・ 湯来地区において、農林業就労者の増加に向けた取組や農林業・農村の振興を進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ ひろしま活力農業経営者育成事業  
湯来町に移住し、自立を目指す若い新規就農者を育成・支援
- ▽ 半林半X移住者支援事業  
湯来町に移住し、林業（半林）と林業以外（半X）に取り組む林業従事者を育成・支援
- ▽ 湯来町特産の手づくりこんにゃくの生産振興  
新規生産者を育成する湯来こんにゃく学校の運営支援
- ▽ 砂谷牛乳のPR活動支援
- ▽ 広島市佐伯区湯来町農山村生活体験民泊の推進  
修学旅行生及び外国人学生の受入れ
- ▽ クアハウス湯の山へ薪ボイラーの導入

- ・ 区内の各登山道の安全確認や整備を進め、多くの市民に区内の山や滝などの自然に親しんでもらえるよう努める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 自然を生かしたまちづくりの推進  
登山道の整備とボランティアガイドの養成

#### ○ 歴史や文化等の承継・活用

魅力ある歴史や文化等の地域資源を将来にわたり承継し、住民によるまちづくり活動への意欲向上を図ります。

- ・ 湯来地区などの歴史、文化等の地域資源を保存し、多くの人に訪れてもらえるようなまちづくりを進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進  
湯の山温泉湯治場まつりの開催、湯ノ山明神旧湯治場の利活用

- ・ 河内地区などにおいて、災害の教訓を承継することで、住民の災害に対する意識を高める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 忘れまい6.29集会

## まちづくりの方向性② 人に優しく、快適で安全・安心なまちづくり

### 概要

誰もが住みやすい環境づくりに取り組むとともに、互いに支え合う安全で安心なまちづくりを進める。

### 【主な取組】

#### ○ 地域共生社会の実現

お互いに支え合いながら、誰もが地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができるような社会を目指します。

- ・ 地域団体と区役所等の行政機関が協力関係を築き、地域の実情に応じて「自助」、「共助」、「公助」を適切に組み合わせた取組を進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 区民ウォーキング大会
- ▽ 地域支え合い事業  
高齢者の見守り
- ▽ ふれあい運動会  
障害者と高齢者との親善交流
- ▽ はいかい高齢者等SOSネットワーク  
地域の関係機関による保護情報の共有
- ▽ 河川クリーンキャンペーン
- ▽ 困りごと支援事業  
生活支援や介護相談（サロンド・ワーク彩）

#### ○ 生活基盤の構築

誰もが快適で、将来にわたって住み続けられるまちづくりを目指します。

- ・ 公共施設のバリアフリー対策など、誰もが都市の利便性を享受できるまちづくりを進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ バリアフリー対策事業  
五日市駅自由通路エレベーターの新設、国道2号歩道改良事業、住宅のバリアフリー化のための費用補助

- ・ 住宅団地におけるスーパーや商業施設の撤退、バスの減便に対し、商業機能を補完する取組や新たな移動手段の導入に取り組む。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 定期的な朝市の運営  
野菜市の開催（サロンド・ワーク彩）
- ▽ 乗り合いタクシーの導入  
りんりんタクシー（美鈴が丘）

## ○ 防災・防犯活動

### (1) 自主防災組織等と連携し、災害に強いまちづくりを目指します。

- ・ 住民参加による防災訓練の充実などにより、地域の防災力の向上を図る。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 防災まちづくり事業の推進  
わがまち防災マップの作成支援、地域防災士の養成
- ▽ 区総合防災訓練等の開催

- ・ 避難支援等関係者（町内会、自主防災組織、社会福祉協議会、民生委員等）が連携し、避難行動要支援者に対する避難支援を円滑に行う。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 避難行動要支援者支援事業の推進

### (2) 関係機関と連携し、地域の防犯力の向上を図ります。

- ・ 区民が安全で安心して暮らせる、住みやすいまちづくりを実現するため、区民の自主的な取組への支援や協働により、「減らそう犯罪」事業や子どもの安全対策を推進する。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 「安全・安心なまちづくり、佐伯区民の集い」の開催
- ▽ 防犯講習会の開催
- ▽ 青パトによる防犯パトロールの実施
- ▽ 佐伯区「安全・安心」新聞『レインボー』の発行
- ▽ 「8・3(ハチサン)運動」の実施  
子どもの見守り

## まちづくりの方向性③ 地域力を高め、元気で活力のあるまちづくり

### 概要

地域コミュニティを育むとともに、身近な地域資源を活用した住民の主体的かつ継続的な取組を促進し、元気で活力のあるまちづくりを進める。

### 【主な取組】

#### ○ 地域コミュニティの充実

地域コミュニティの活動がより充実するよう支援し、多くの人が地域活動に携わるよう、地域力の向上を目指します。

- ・ 住宅団地の課題を住民が共有する場を設けることで、住民同士の新しいつながりや行動の契機とし、住宅団地の活性化を図る。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 住宅団地の活性化  
佐伯区住宅団地元気フォーラム（情報交換会等）の開催、カフェサロンの開催（サロンド・ワーク彩）

- ・ 湯来地区において、地区全体の活性化が課題となっていることから、地区内の活動グループや事業者が連携しながら、地域住民主体で湯来地区全体の活性化を図る。

**【主な取組事例】**

- ▽ 中山間地域における湯来地区の活性化  
上多田地区と水内地区（モデル地区）で活性化に向けた勉強会の開催、農村ボランティア活動支援

- ・ 住民の主体的かつ継続的なまちづくり活動を推進するため、住民自らによる区全体を視野に入れたまちづくりの計画、実践を支援する。

**【主な取組事例】**

- ▽ 区民主体のまちづくりの推進（佐伯区まちづくり百人委員会）  
花部会、高齢者活性化部会、商店街部会、町内会いきいき部会、災害に強いまちづくり部会の活動支援
- ▽ 町内会の加入促進  
新築マンション内覧会やイベント等で町内会加入促進をPR

- ・ 世代を超えた住民同士が交流し、親睦を図るイベントを開催することで、住民のふるさと意識が高まるようなまちづくりを進める。

**【主な取組事例】**

- ▽ 三世代交流イベントの開催

- ・ スポーツを通じて、心身共に健康な生活を営むとともに、住民同士が交流するまちづくりを進める。

**【主な取組事例】**

- ▽ 区民スポーツ大会
- ▽ グラウンドゴルフ大会

○ **身近な地域資源の活用**

街区公園等の身近な地域資源を有効活用することができる「小さなエリアマネジメント」の手法を取り入れることにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

- **新** 街区公園等において、地域コミュニティにおけるにぎわいの創出に資する活動を実施することで、住民主体の地域活動の活性化と地域コミュニティの活動財源の確保を図る。

**【主な取組事例】**

- ▽ 物品販売等を主目的とする営利活動の実施  
「彩の市」の開催、「やくし日曜市」の開催
- ▽ 自動販売機の設置
- ▽ とんど、夏祭り等の開催

## まちづくりの方向性④ 人が集い交流する、にぎわいのあるまちづくり

### 概要

コイン通りや五日市埠頭などの地域資源を活用し、近隣市町である廿日市市、大竹市、安芸太田町との連携も図りながら、イベントの開催や観光の振興などに取り組み、活発な交流やにぎわいのあるまちづくりを進める。

### 【主な取組】

#### ○ おもてなしの心を持ったイベントの開催

(1) 各種イベントを開催し、区の内外から多くの人交流することで、にぎわいの創出を図ります。

- ・ 商店街や区民が主体となったイベント、祭りなどを開催することで、商店街等の活動が活性化し、多くの人交流するにぎわいのあるまちづくりを進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ さえき桜まつり
- ▽ 湯の山温泉桜まつり
- ▽ アートフェスタ佐伯区  
区内のいたる場所で芸術の発表・展示を行う
- ▽ 八幡川リバーマラソン大会
- ▽ 佐伯区民まつり
- ▽ 大型クルーズ客船の寄港を生かしたまちづくり  
「佐伯区おもてなし隊」の活動、五日市埠頭一般開放時のおもてなしイベントの実施

(2) 区の木、区の花を中心とした、区民主体の花と緑いっぱいのまちづくりを進めます。

- ・ 区民が主体となって育成した花苗で地域イベントを飾ることや、公共施設を花いっぱいの潤いある空間にすることなど、花と緑いっぱいのまちづくりを進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 区の木、区の花でまちづくり  
区の木「桜」：さくらマップの配布、区の花「コスモス」：種の配布
- ▽ さえきフラワープロジェクト  
区民まつりに合わせた花の塔の制作等の活動
- ▽ おもてなしの花づくり  
五日市駅自由通路への花鉢設置

#### ○ 近隣市町・区との連携によるまちづくり

近隣市町・区と連携し、各々の地域課題の解決や地域活力の創出を図ります。

- ・ 近隣市町・区と情報共有や意見交換を行い、共同して情報発信やイベント等を実施することにより、観光の振興を進める。

#### 【主な取組事例】

- ▽ 広域観光物産展の開催
- ▽ 佐伯区観光情報等の発信  
FMはつかいちを活用した観光情報の発信
- ▽ 広島市佐伯区西国街道プロジェクトの実施  
西国街道まち歩きイベントの開催、各市町まち歩きガイドグループ交流会の開催

## 6 佐伯区における広域都市圏の発展に資する取組の実施

本市は、平成5年（1993年）に13市町により「広島広域都市圏形成懇談会」を設立し、平成24年（2012年）2月には新たな加入を機に「広島広域都市圏協議会」に改称し、さらに平成27年（2015年）7月には東は三原市エリアから西は山口県柳井市エリアまでの24市町からなる、広島広域都市圏を形成しています。

全国的に少子化による人口減少や高齢化が進展する中であって、本圏域も例外ではないことから、これらの進展を抑制し、圏域経済を活性化し自律的で持続的な発展を図るとともに、中四国地方の発展に寄与する役割を担い続けていくためには、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築する必要があります。

こうしたことから、佐伯区においても地域資源等の活用などにより、広島広域都市圏の発展に資する取組を推進することとしています。

具体的な取組は次のとおりです。

### (1) 近隣市町との連携による観光振興【連携市町：廿日市市、大竹市、安芸太田町】

佐伯区では、近接する廿日市市、大竹市及び安芸太田町を中心に連携し各々の地域課題の解決や地域活力の創出を図るため、情報共有や意見交換を行い、共同して情報発信やイベント等を実施することにより、自治体の枠を越えた取組を一層推進していきます。

こういった近隣市町との連携による観光振興を進めながら、佐伯区ならではの地域資源を生かした観光振興に係る取組を合わせて行うことにより、「区を目指すべきまちの姿」を実現します。

### (2) 西国街道プロジェクトの実施【連携市町：廿日市市、大竹市】

本市の中心市街地のにぎわいと発展の基礎であり、廿日市市、大竹市、広島市佐伯区を横断している西国街道をテーマとしてプロジェクト事業を実施しています。

このプロジェクトは現在、「西国街道がつなぐまちあるきマップ」を作成し、マップを活用したまちあるきイベントなどを開催していますが、マップの改良、増刷やコース案内版の設置を行うなどにより、広域都市圏内で活動する各団体や住民が、西国街道により親しんでもらえるような取組を進めます。

### (3) 広島市佐伯区湯来町農山村生活体験民泊の推進【連携市町：安芸太田町、北広島町】

佐伯区の中山間地域にある湯来地区において、湯来地区の自然、歴史、文化等の地域資源を活用し、住民による地域づくり活動への意欲向上を図り、もって中山間地域を活性化させることを目的として、修学旅行生等の農山村生活体験民泊を推進する受入窓口となる「広島市佐伯区湯来町農山村生活体験推進協議会」を平成29年度（2017年度）に設立し、平成30年度（2018年度）から本格的な受入れを開始しています。

当該協議会において、安芸太田町及び北広島町との連携の下、修学旅行生等の共同受入れを実施していきます。

## 7 計画の推進に当たって

本アクションプランを推進していくためには、行政だけでなく、住民や地域団体、企業、NPOといった地域全体で取り組む必要があります。このため、エリアマネジメントなど効果的な手法によって、様々な主体との連携を図りながら、効率的にまちづくりを推進します。

区のまちづくりの方向性に基づく主な取組について

まちづくりの方向性	概要	主な取組					
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	主な取組事例
①自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり	海、川、山などの豊かな自然環境を維持・活用するとともに、湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくりを進める。	○豊かな自然環境の維持・活用	区の特徴である豊かな自然を維持し、活用したまちづくりを目指します。		○	・湯来地区において、農林業就労者の増加に向けた取組や農林業・農村の振興を進める。	・ひろしま活力農業経営者育成事業（湯来町に移住し、自立を目指す若い新規就農者を育成・支援） ・半林半X移住者支援事業（湯来町に移住し、林業（半林）と林業以外（半X）に取り組む林業従事者を育成・支援） ・湯来町特産の手づくりこんにやくの生産振興（新規生産者を育成する湯来こんにやく学校の運営支援） ・砂谷牛乳のPR活動支援 ・広島市佐伯区湯来町農山村生活体験民泊の推進（修学旅行生及び外国人学生の受入） ・クアハウス湯の山へ薪ボイラーの導入
					○	・区内の各登山道の安全確認や整備を進め、多くの市民に区内の山や滝などの自然に親しんでもうらえるよう努める。	・自然を生かしたまちづくりの推進（登山道の整備とボランティアガイドの養成）
		○歴史や文化等の承継・活用	魅力ある歴史や文化等の地域資源を将来にわたり承継し、住民によるまちづくり活動への意欲向上を図ります。		○	・湯来地区などの歴史、文化等の地域資源を保存し、多くの人に訪れてもらえるようなまちづくりを進める。	・湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進（湯の山温泉湯治場まつりの開催、湯ノ山明神旧湯治場の利活用）
					○	・河内地区などにおいて、災害の教訓を承継することで、住民の災害に対する意識を高める。	・忘れまい6.29集会
②人に優しく、快適で安全・安心なまちづくり	誰もが住みやすい環境づくりに取り組むとともに、互いに支え合う安全で安心なまちづくりを進める。	○地域共生社会の実現	お互いに支え合いながら、誰もが地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができるような社会を目指します。		○	・地域団体と区役所等の行政機関が協力関係を築き、地域の実情に応じて「自助」、「共助」、「公助」を適切に組み合わせた取組を進める。	・区民ウオーキング大会 ・地域支え合い事業（高齢者の見守り） ・ふれあい運動会（障害者と高齢者との親善交流） ・はいかい高齢者等SOSネットワーク（地域の関係機関による保護情報の共有） ・河川クリーンキャンペーン ・困りごと支援事業（生活支援や介護相談（サロンド・ワーク彩））
				○生活基盤の構築	誰もが快適で、将来にわたって住み続けられるまちづくりを目指します。		○
			○			・住宅団地におけるスーパーや商業施設の撤退、バスの減便に対し、商業機能を補完する取組や新たな移動手段の導入に取り組む。	・定期的な朝市の運営（野菜市の開催（サロンド・ワーク彩）） ・乗り合いタクシーの導入（りんりんタクシー（美鈴が丘））
		○防災・防犯活動	(1)自主防災組織等と連携し、災害に強いまちづくりを目指します。		○	・住民参加による防災訓練の充実などにより、地域の防災力の向上を図る。	・防災まちづくり事業の推進（わがまち防災マップの作成支援、地域防災士の養成） ・区総合防災訓練等の開催
					○	・避難支援等関係者（町内会、自主防災組織、社会福祉協議会、民生委員等）が連携し、避難行動要支援者に対する避難支援を円滑に行う。	・避難行動要支援者支援事業の推進
					○	・区民が安全で安心して暮らせる、住みやすいまちづくりを実現するため、区民の自主的な取組みへの支援や協働により、「減らそう犯罪」事業や子どもの安全対策を推進する。	・「安全・安心なまちづくり、佐伯区民の集い」の開催 ・防犯講習会の開催 ・青パトによる防犯パトロールの実施 ・佐伯区「安全・安心」新聞『レインボー』の発行 ・「8・3(ハチサン)運動」の実施（子どもの見守り）

区のまちづくりの方向性に基づく主な取組について

まちづくりの方向性	概要	主な取組					
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	主な取組事例
③地域力を高め、元気で活力のあるまちづくり	地域コミュニティを育むとともに、身近な地域資源を活用した住民の主体的かつ継続的な取組を促進し、元気で活力のあるまちづくりを進める。	○地域コミュニティの充実	地域コミュニティの活動がより充実するよう支援し、多くの人々が地域活動に携わるよう、地域力の向上を目指します。		○	・住宅団地の課題を住民が共有する場を設けることで、住民同士の新しいつながりや行動の契機とし、住宅団地の活性化を図る。	・住宅団地の活性化 (佐伯区住宅団地元気フォーラム(情報交換会等)の開催、カフェサロンの開催(サロンド・ワーク彩))
					○	・湯来地区において、地区全体の活性化が課題となっていることから、地区内の活動グループや事業者が連携しながら、地域住民主体で湯来地区全体の活性化を図る。	・中山間地域における湯来地区の活性化 (上多田地区と水内地区(モデル地区)で活性化に向けた勉強会の開催、農村ボランティア活動支援)
					○	・住民の主体的かつ継続的なまちづくり活動を推進するため、住民自らによる区全体を視野に入れたまちづくりの計画、実践を支援する。	・区民主体のまちづくりの推進(佐伯区まちづくり百人委員会) (花部会、高齢者活性化部会、商店街部会、町内会いきいき部会、災害に強いまちづくり部会の活動支援) ・町内会の加入促進 (新築マンション内覧会やイベント等で町内会加入促進をPR)
					○	・世代を超えた住民同士が交流し、親睦を図るイベントを開催することで、住民のふるさと意識が高まるようなまちづくりを進める。	・三世代交流イベントの開催
		○身近な地域資源の活用	街区公園等の身近な地域資源を有効活用することができる「小さなエリアマネジメント」の手法を取り入れることにより、地域コミュニティの活性化を図ります。	○		・街区公園等において、地域コミュニティにおけるにぎわいの創出に資する活動を実施することで、住民主体の地域活動の活性化と地域コミュニティの活動財源の確保を図る。	・物品販売等を主目的とする営利活動の実施 (「彩の市」の開催、「やくし日曜市」の開催) ・自動販売機の設置 ・とんど、夏祭り等の開催
④人が集い交流する、にぎわいのあるまちづくり	コイン通りや五日市埠頭などの地域資源を活用し、近隣市町である廿日市市、大竹市、安芸太田町との連携も図りながら、イベントの開催や観光の振興などに取り組み、活発な交流やにぎわいのあるまちづくりを進める。	○おもてなしの心を持ったイベントの開催	(1)各種イベントを開催し、区の内外から多くの人々が交流することで、にぎわいの創出を図ります。		○	・商店街や区民が主体となったイベント、祭りなどを開催することで、商店街等の活動が活性化し、多くの人々が交流するにぎわいのあるまちづくりを進める。	・さえき桜まつり ・湯の山温泉桜まつり ・アートフェスタ佐伯区 (区内のいたる場所で芸術の発表・展示を行う) ・八幡川リバーマラソン大会 ・佐伯区民まつり ・大型クルーズ客船の寄港を生かしたまちづくり (「佐伯区おもてなし隊」の活動、五日市埠頭一般開放時のおもてなしイベントの実施)
					○	・区民が主体となって育成した花苗で地域イベントを飾ることや、公共施設を花いっぱい潤いある空間にするなど、花と緑いっぱいのまちづくりを進める。	・区の木、区の花でまちづくり (区の木「桜」：さくらマップの配布、区の花「コスモス」：種の配布) ・さえきフラワープロジェクト (区民まつりに合わせた花の塔の制作等の活動) ・おもてなしの花づくり (五日市駅自由通路への花鉢設置)
		○近隣市町・区との連携によるまちづくり	近隣市町・区と連携し、各々の地域課題の解決や地域活力の創出を図ります。		○	・近隣市町・区と情報共有や意見交換を行い、共同して情報発信やイベント等を実施することにより、観光の振興を進める。	・広域観光物産展の開催 ・佐伯区観光情報等の発信 (FMはつかいちを活用した観光情報の発信) ・広島市佐伯区西国街道プロジェクトの実施 (西国街道まち歩きイベントの開催、各市町まち歩きガイドグループ交流会の開催)